

日米回線の運用方針について

1 目的

JGN では、NICTをはじめとする関係研究機関間での国際的な共同研究を進めるため、共同研究の基盤となる超高速国際テストベッドネットワークを我が国と米国との間で整備・運用し、次世代の情報通信基盤技術の研究開発、標準化、ネットワークを活用する応用技術の研究開発等の推進を図る。

2 JGN ・日米回線の主な仕様

日米回線の仕様は以下の通り

国際専用回線 10Gbps(OC-192 SONET) 1 回線

区間 日本(東京)～米国(シカゴ)

運用開始日 平成16年8月1日

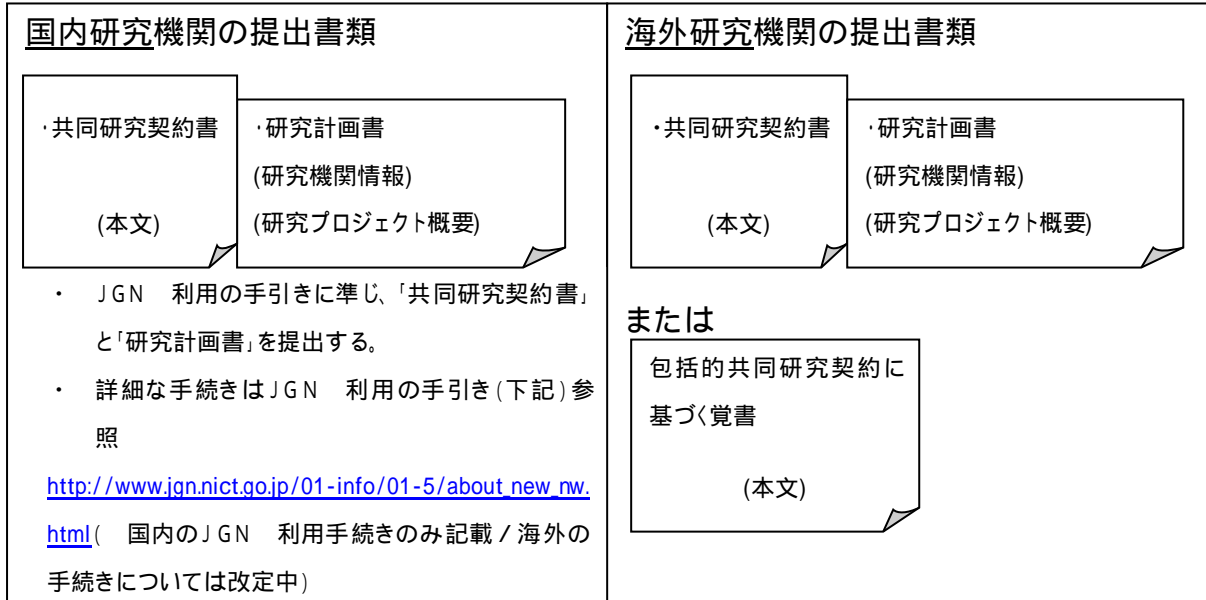
3 運用方針

広く海外の研究者にもJGN の研究環境を提供することを基本的な方針とする。また、良好な研究環境を維持するとともに、研究開発の成果の管理を適切に行っていく必要がある。このような考えに基づき、日米回線の運用方針を以下のように定める。

- JGN の日米回線を經由し、国内研究機関と海外研究機関が共同研究プロジェクトを行う場合に、国内研究機関は「JGN 利用の手引き」に従った手続きを、海外研究機関は「JGN 利用の手引き」に従った手続き、又は、包括的共同研究契約に基づく覚書を必要とする(次ページ ケース1参照)。
- JGN の日米回線を經由し、海外研究機関が他の海外研究機関と通信を行うこと(トランジット)は、NICTが参画している共同研究プロジェクトの場合を除き、原則として認めない。(次ページ ケース2参照)
- 本利用方針は、本年度末を目処に利用の実態を踏まえ必要に応じ見直す。

JGN ・日米回線利用方針

・ケース 1: 国内研究機関と海外研究機関が共同研究プロジェクトを行う場合



・ケース 2: 海外研究機関と他の海外研究機関が共同研究プロジェクトを行う場合

